

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年2月5日(2015.2.5)

【公表番号】特表2014-504327(P2014-504327A)

【公表日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2013-545227(P2013-545227)

【国際特許分類】

C 08 F 4/654 (2006.01)

C 08 F 10/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 4/654

C 08 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月9日(2014.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

塩化マグネシウムとエタノールを含む固体付加物であって、1モルの塩化マグネシウム当たりのエタノールのモル数が2～5の範囲であり、水銀空隙測定法で求めた前記付加物の $1\text{ }\mu\text{m}$ 以下の孔による平均空孔半径( )と、1モルの塩化マグネシウム当たりのエタノールのモル数の比率が500より大きい固体付加物。

【請求項2】

エタノールのモル数が2.2～4.5の範囲であり、これに対応して上記の付加物の平均空孔半径とエタノールのモル数の比率が600より大きい請求項1に記載の固体付加物。

【請求項3】

水銀気孔率が0.05～0.2cm<sup>3</sup>/gであり、空孔の平均空孔半径が0.18～0.35μmである請求項1又は2のいずれか一項に記載の固体付加物。

【請求項4】

請求項1に記載の固体付加物を部分的に脱アルコール化することによって得られ、及び1モルのMgCl<sub>2</sub>に対して0.1～3モルのエタノールを含むことを特徴とする固体付加物。

【請求項5】

Hg法によって測定して、0.2～1.5cm<sup>3</sup>/gの気孔率を有し、及び平均空孔半径が0.14～0.3μmの孔を有することを特徴とする請求項4に記載の固体付加物。

【請求項6】

請求項1～5の何れか1項に記載の固体付加物を一種以上の遷移金属化合物と反応させて得られるオレフィンの重合用の固体触媒成分。